

## 带状疱疹後神経痛に伴う疼痛治療剤に関する 共同開発及び販売権許諾契約について

久光製薬株式会社（本社：佐賀県鳥栖市、代表取締役社長：中富一榮、以下「久光製薬」）は、東洋製薬化成株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：西村英克、以下「東洋製薬化成」）と、带状疱疹後神経痛に伴う疼痛の緩和を適応症とするゲル剤（開発コード：TH-004、一般名：リドカイン、以下「本剤」）について、日本における共同開発及び販売権許諾契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本邦ではリドカインを有効成分とする外用剤（テープ剤、スプレー剤、ゼリー剤など）が承認されていますが、带状疱疹後神経痛に対する効能・効果を有する製剤は未承認です。院内製剤としてリドカイン塗布剤が調剤されるケースもありますが、有効性・安全性に関する報告が限られているほか<sup>※1</sup>、原薬の結晶化などの課題も存在しています。

こうした背景を受け、日本ペインクリニック学会より、带状疱疹後神経痛に伴う疼痛緩和を適応としたリドカイン製剤（ゲル10%）の開発要望が提出され、2021年3月11日に開催された「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」において医療上の必要性が認められました。これを受けて厚生労働省より開発企業の募集が行われ、本剤の開発が東洋製薬化成によって進められることとなりました。

带状疱疹後神経痛の推定患者数は国内で約10.6万人<sup>※2</sup>とされており、本剤の導入により、痛みに悩む患者さんに対する新たな治療選択肢の提供が可能となります。久光製薬は、注力しているTDDS製剤及び疼痛治療領域におけるパイプラインの充実を図り、患者さんのQOL（生活の質）の向上に貢献してまいります。

以上

**【東洋製薬化成株式会社 概要】**

社名	東洋製薬化成株式会社
事業内容	医薬品・化学工業品の製造並びに販売
所在地	大阪府中央区道修町2丁目1番5号
設立年月	1918年3月
代表者	代表取締役社長 西村 英克
URL	<a href="https://toyo-pharma.com/">https://toyo-pharma.com/</a>

- ※1 神経障害性疼痛に対する院内製剤 10%リドカインゲルの使用実態調査 Jpn. J. Drug Inform., 25 (3) :115~123 (2023)
- ※2 厚生労働省「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬の要望募集について」未承認薬・適応外薬の要望（募集対象（1）（2））IV-96（別添様式1-1）

**【本件に関するお問い合わせ先】**  
経営企画本部 企業戦略室 広報・IR 課  
TEL 03-5293-1732